

利賀っ子だより



R 3 . 4 . 2 3

「地域の方に支えられて」



先日、保護者の方から「家の桜が咲いたので」と立派な桜の枝をいただきました。学校に飾るために惜しげもなくくださったことをうれしく思いました。「お客さんに観てほしい。」という持ってきてくれたJさんの意見で職員玄関に飾らせていただきました。

同じ日、シルバー人材センターの方が職員玄関へのアプローチの雪囲いを外しに来てくださいました。作業の合間に

「運動会の練習に間に合わせて雪が解けたなあ。」「山村留学の子供たちどう？」等、学校の様子を気にかけて、声をかけてくださいました。

同じ日にあった2つの出来事から、地域の方の学校への思いをあらためて感じ、ありがたく感じました。



《子供たちの姿から》

○「進化した！」



低学年の4人は、今、図画工作科で新聞を使った造形遊びの学習をしています。この数日間、毎朝、登校後のランドセル等の片付けが終わると、新聞紙の「ひみつち」づくりに没頭しています。「みんなが見えるように窓を作った。」「長く遊べるように長い基地にしたかったから、2つの基地をつないだ。」など「〇〇したい」と考え、そのために「〇しよう」と決め、行動

している姿に感心しました。そして、「また（秘密基地が）、進化した！」と自分たちの活動を振り返り、できばえを喜んでいました。自由に活動できる時間と場所と材料の準備が子どもたちの進化を促したようです。